

平成11年2月3日  
東京都病害虫防除所

## 平成10年度 病害虫発生予察 特殊報 第2号

病害虫名： ブーバルジア葉枯線虫病(仮称)

病原： *Aphelenchoides fragariae* (Ritzema Bos, 1890) Christie, 1932

対象作物： ブーバルジア

### 1. 特殊報の内容

ブーバルジアにおいてイチゴセンチュウの寄生による被害をはじめて確認した。

### 2. 発生経過

平成10年11月に東京都大島町のブーバルジア栽培生産圃場で発生した。複数の圃場で下葉から枯れ上がり、枯死する株が多発したため、ベールマン法による線虫分離を行ったところ、多数の*Aphelenchoides*属線虫が葉・茎・花から分離された。本線虫は農林水産省農業研究センター線虫害研究室水久保隆之室長によりイチゴセンチュウと同定された。

また、分離線虫をブーバルジア健全株に接種すると葉枯れ症状が再現され、接種線虫が再分離された。

### 3. 形態・生態

長さは0.6~0.9mm程度で細長く、体長に比べ口針が小さい。尾部末端に1個の突起がある。

イチゴセンチュウはイチゴ、ポタン、シャクヤク、ユリ、ペゴニア、センリョウ、シダ、キクなどの芽や葉に外部寄生または内部寄生することが報告されている。一般的には降雨などの雨滴、跳ね上がりによる水を媒介として植物体に侵入、繁殖すると考えられている。

### 4. 被害

はじめ下葉に不整形で油浸状の小病斑を形成し、やがて葉脈間に囲まれた暗褐色から灰褐色の壊死斑となり、葉枯れを起こす。同様の症状が順次上位葉に進展し株全体が褐変枯死する。現在までに発生を確認した品種は‘ハイブリッド’および大輪系の‘白王冠’である。近年現地のブーバルジア生産において問題となっている生育異常、開花不良等にも本線虫が関与している可能性が高い。

### 5. 防除対策

(1)被害株・落葉した葉を圃場から持ち出し、焼却などの処分を徹底する。

(2)発生圃場では繁殖用の採穂を行わない。

(3)発生のおそれがある場合は普及センター・試験場・防除所等に連絡する。